



●セーフコミュニティからのお知らせ

幼児期の子どもは、行動範囲が広がり、好奇心も発達し、何にでも興味を持つ頃ですね。そのため、ケガや事故は、家の中だけではなく、公園や道路など屋外でも多く起こり、ますます注意が必要になってきます。

身の回りの危険について家族みんなで話し合ってみましょう。

＝セーフコミュニティとは＝

セーフコミュニティの活動は、ケガや事故は予防できる、という考え方を基本としています。

つまり、事故は偶然に起こるものではなく、何らかの原因があり、その原因を取り除くことで防いでいこうとするものです。普段から身の周りのどこに危険が潜んでいるかを知っておき、事故が起こる前、ケガをする前に危険を予知し、ケガや事故から身を守れるようになることが大切です。





屋内のきけん

・祖父母の皆さんへ

- 手の届くところにタバコやアイロン、化粧品など危ないものを置いていませんか？
- 落ちてきたら危ないものを高いところに置いていませんか？
- テレビやたんすなど地震時に倒れやすいものを、固定していますか？

・子どもたちへ

- ペンやフォーク、歯ブラシなどをくわえたまま動き回ったらのどに刺さってケガをするよ。
- 窓から体を乗り出すと落っこちてしまうよ。
- くつしたをはいて走るとすべりやすいから気をつけようね。

屋外のきけん

・祖父母の皆さんへ

- 道路の反対側から子どもを呼んだりしていませんか？
- 子どもを自転車に乗せるとき、子ども用座席に正しい使用方法で乗せていますか？またサイズにあったヘルメットを使用していますか？
- チャイルドシートを正しく使用していますか？
- 走行中車のドアのロックをかけていますか？

・子どもたちへ

- 池や溝など水のあるところに近づくと落っこちてしまうので危ないよ。
- ポケットに手を入れて歩いたり、走ったりすると、ころんだとき手がつかなくてケガをするよ。
- 高いところにのぼったら落っこちてケガをするよ。
- 車の近くで遊んでいると車が動いたとき危ないよ。
- 不審者に会ったら「いかのおすし」を。

おぼえてね!

『**い**かない・**の**らない・**お**おごえでさけが・**す**ぐにげる・**し**らせる』